

# 要 望 書

《国道349号整備促進について》

【平成24年10月】

国道349号建設促進期成同盟会  
会 長 根 本 匠



## 国道349号の整備促進について

国道349号は、昭和50年4月に国道へ昇格以来、貴県の特段のご高配により漸次改良整備が進められ、着々とその成果が得られておりますことに厚く御礼を申し上げます。

ご承知のごとく国道349号は、茨城県水戸市を起点に福島県の阿武隈山系を縦断しながら宮城県柴田町に至る実延長約260km、沿線3県・18市町村に及ぶ路線であります。

本国道は、阿武隈山系を縦断するという路程からその多くが山間部を通過しており、未だ各所に幅員が狭隘で、かつ、屈曲の甚だしい箇所があり、また、沿線市町村の中心市街地等を通る路線では、歩道等交通安全施設の整備が遅れているため、近年の通行量の増加、特に大型車両の増加によって歩行者の安全が脅かされているなど、地域住民より一日も早い改良整備が強く求められております。

道路は、人と暮らしを支え、豊かな地域社会を形成する上で最も基本的な社会資本であることは言うまでもなく、道路網の整備なくして、地域の発展は成し得ません。

さらに未曾有の被害をもたらした東日本大震災では、道路は支援物資の運搬や緊急車両の通行など「命をつなぐ道」として、その重要性が再認識されたところであり、特に、高速道路等幹線道路の機能が失われた際にその機能を補完できる道路網の整備が改めて重要視されております。

つきましては、沿線市町村の振興発展と沿線住民の安全・安心の確保、そして幹線道路災害時の補完機能を強化するためにも、沿線市町村が求める整備促進要望箇所について、早急に整備されるよう強く要望いたします。

## 国道349号整備促進要望箇所（宮城県）

県名	市町村名	要望番号	要 望 箇 所		事 業 名
			箇所名（地名）	延長 m	
宮 城 県	柴 田 町	1	白 幡 橋	168	橋 梁 整 備
	角 田 市	2	江 尻 ～ 小 坂 地 区	2,000	交通安全施設等整備事業
	丸 森 町	3	大 張 川 張 ～ 耕 野 地 区	6,000	道 路 改 良

要望 番号	市町村名	宮 城 県 柴 田 町	
1	要望箇所	白 幡 橋	
		事業名	橋 梁 整 備
		延長 (m)	1 6 8
		<p>《現状と要望事項》</p> <p>柴田町を縦走する一級河川「白石川」に架かる「白幡橋」は、昭和13年に架設以来、既に74年が経過し、老朽化が著しい状況にあります。</p> <p>「白幡橋」は、国道349号を利用し角田市・丸森町や伊達市梁川町など福島県方面へ通じる重要な橋梁として年々通行量が増加しており、さらに主要地方道白石・柴田線とも重複したため、朝夕のラッシュ時は慢性的な交通渋滞が生じております。</p> <p>平成20年度に地覆、高欄、照明灯の交換及び歩道橋塗装替えなどの補修工事を施工いただいたところですが、今後もさらなる交通量の増加が予想されるため、早急な架替えについて強く要望いたします。</p>	



要望番号	市町村名	宮城県角田市	
2	要望箇所	江尻～小坂地区	
		事業名	交通安全施設等整備
		延長 (m)	2,000
		<p>《現状と要望事項》</p> <p>角田市江尻～小坂地区については、平成11年度より交通安全施設等整備事業を実施いただき、I期工事(L=1,000m)が平成21年度に完了いただきました。</p> <p>しかしながら本箇所は、一級河川「阿武隈川」の堤防の一部を国道として利用しており、両側にガードレールが設置されている箇所もあり、近年の交通量の増加、特に大型車両の増加により、歩道未整備区間での歩行者・自転車が大変危険な状況にあります。</p> <p>つきましては、II期工事(L=1,000m)の早期完成とその先の歩道の整備について強く要望いたします。</p>	



要望番号	市町村名	宮 城 県 丸 森 町	
3	要望箇所	大 張 川 張 ～ 耕 野 地 区	
		事業名	道路改良
		延長 (m)	6,000
		≪現状と要望事項≫ 丸森町大張川張～耕野地区は、宮城県と福島県の県境付近で近接する国道4号や東北自動車道で大規模な災害が発生し、双方が通行止めとなった際には、迂回路としての役割を果たせる路線であります。 しかしながら、本区間は、幅員が狭隘で屈曲が続くため、接触事故が多発している区間であり、特に、大型車両は、対面交差が不可能であり、車両交差を行うためには、一方が待避所まで後退しなければならず、大変危険な状況にあります。 さらに、阿武隈川の増水時には冠水によって交通不能となる区間でもあります。 つきましては、本路線が、国道4号・東北自動車道の迂回路として、その機能を果たせるよう、早急に改良整備を図れるよう強く要望いたします。	







# 国道349号建設促進期成同盟会 構 成 員

会 長	根 本	匠
	高 橋	靖 (茨城県 水戸市長)
	吉 成	明 (茨城県 日立市長)
副会長	大 久 保 太	一 (茨城県 常陸太田市長)
	海 野	徹 (茨城県 那珂市長)
	渡 辺 敬	夫 (福島県 いわき市長)
	古 張	允 (福島県 矢祭町長)
副会長	菊 池 基	文 (福島県 塙町長)
	大 樂 勝	弘 (福島県 鮫川村長)
	岡 部 光	徳 (福島県 古殿町長)
	澤 村 和	明 (福島県 平田村長)
	宍 戸 良	三 (福島県 小野町長)
	富 塚 宥	暲 (福島県 田村市長)
	三 保 恵	一 (福島県 二本松市長)
	古 川 道	郎 (福島県 川俣町長)
	仁 志 田 昇	司 (福島県 伊達市長)
副会長	保 科 郷	雄 (宮城県 丸森町長)
	大 友 喜	助 (宮城県 角田市長)
	滝 口	茂 (宮城県 柴田町長)

# 《国道349号全線図》



## 【沿線市町村】

◎宮城県

柴田町  
角田市  
丸森町

◎福島県

伊達市  
川俣町  
二本松市  
田村市  
小野町  
いわき市  
平田村  
古殿町  
鮫川村  
埴町  
矢祭町

◎茨城県

常陸太田市  
日立市  
那珂市  
水戸市